

令和4年12月15日 第84号

好地地区まちづくり委員会
総務企画部会

〒028-3101 花巻市石鳥谷町好地 8-78-3
(石鳥谷国際交流センター内)
問合せ・申込み ☎ 0198-45-6639
(好地振興センター内)

好地まちづくりだより



参加者募集！【いきいき健康づくり教室 ヨガ教室】

保健福祉部会

初心者でも、無理せずやり易く行います。ゆったりと各関節をほぐした後、優しいヨガのポーズを行います。リラックスしながら気持ち良く楽しみましょう。

講師は「健考館（石鳥谷町松林寺）」で運動指導サポートとして活躍し、石鳥谷国際交流センターで「リフレッシュヨガ教室」を開催している方をお願いしました。

- 日 時：令和5年1月19日（木）午前10時～11時30分
- 場 所：石鳥谷国際交流センター 和室
- 講 師：NPO法人日本ヨガ連盟
インストラクター 似内 芳枝さん
- 定 員：15人（好地地区民）
- 参加費：無料
- 申込み：令和5年1月20日（木）までに（電話可）
- 持ち物：水分補給の飲み物、汗ふきタオル、
敷き物（バスタオルまたはヨガマット）、
その他各自必要なもの。

※新型コロナウイルス感染症予防のため、当日は、マスク着用・検温・手指の消毒をお願いします。
なお、今後の感染症拡大の状況によって、中止とする場合もありますのでご了承ください。

参加者募集！【国際交流事業 国際交流推進講座】

教育振興部会

異文化理解と国際化意識を高めることを目的として、『食から国を知る～パキスタン～』をテーマとして開催します。家庭料理の『チャパティ（全粒粉のパン）』を作って、チキンポテトカレーとブ

ラックティー（紅茶）を試食しながら、パキスタン文化の講話を聞いてみませんか。
皆さんの参加をお待ちしています。

- 日 時：令和5年1月22日（日）
午前10時～12時
- 場 所：石鳥谷国際交流センター
調理室・和室
- 講 師：シャズイアさん
(パキスタン出身、石鳥谷町好地在住)
- 対 象：好地地区民
- 定 員：15人
- 参加費：500円/人（材料代として当日徴収）
- 持ち物：エプロン、三角布、ボウル（直径20cmほど）
めん棒（長さ30cm程度）
※めん棒は自宅にある方は、お持ちください
- 申込み：令和5年1月13日（金）までに（電話可）

※感染症予防のため、当日は、マスク着用・検温・手指の消毒をお願いします。

なお、感染症拡大の状況によって、中止とする場合もありますのでご了承ください。

お知らせ【酒蔵まつり冬の陣鍋まつりの開催について】

産業振興部会

皆さまのおかげで、10月30日の「酒蔵まつり秋の陣 収穫祭」は、大盛況に終わりました。

今回は「冬の陣 鍋まつり」です。コロナウイルス感染症拡大予防のために、ビバハウスいしどりや内での開催は難しいので、秋の陣と同様に屋外（酒蔵交流館、宝峰跡地）での開催を2月に検討しており、詳細が決まりしだいお知らせします。

寒さ厳しい中で、あったかい鍋を用意しますのでお楽しみにしてください。

※今後の感染症拡大の状況によっては、中止とする場合もありますのでご了承ください。

お知らせ【これからの開催予定事業について】

『いきいき健康づくり教室 ピンポン教室』 2月中旬 午前10時～12時 保健福祉部会

『いきいき健康づくり教室 軽スポーツ教室』 3月中旬 午前10時～12時 保健福祉部会

※今後の感染症拡大の状況によって、中止とする場合もありますのでご了承ください。

お知らせ！【年末年始休館について】

石鳥谷国際交流センターとビバハウスいしどりやの年末年始休館は、下記のとおりになっておりますのでお知らせします。

○年末年始休館日 12月29日（木）～1月 3日（水）

ご注意！【暖房機器の使用上の注意】

花巻北消防署 45-2119

12月になり本格的な冬が始まりました。これからの季節は暖房器具を使用する機会が多くなり、毎年、暖房器具が原因と考えられる火災が多く発生しています。使用方法を誤ると火災につながるおそれがあります。使用上の注意をよく守り、安全に使用するよう心がけましょう。

<暖房器具を使用するときの注意点>

○取扱説明書をよく読み、使用しましょう。

○給油、その場から離れるときは、必ず火を消しましょう。

○周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

○洗濯物を上に干したり、近くで乾かさないようにしましょう。

○換気は、1時間に1～2回はしましょう。

部会員コラム【スポーツ競技への思い】

今日12月6日朝、日本にとってのサッカーワールドカップ（WC）が終わった。2日に一次リーグで日本がスペインを破り決勝トーナメント進出を決めてから4日間、日本中が決勝戦で戦う日本チームの夢を見た日々でもあった。サッカーのルールもろくに分からない自分だったが、日本代表の活躍を見て胸が躍った。以前はスポーツを見ることは全くなかったのに、最近は面白いと思いついてスポーツを見ている自分がいることに驚く。

野球の大谷翔平や佐々木朗希、相撲では錦木と、岩手出身の人たちの活躍や今回のサッカーWCのように日本人の活躍には、心を揺すぶられるものがある。同郷、同国の連帯意識とでもいうものだろうか。

活躍の裏に、並外れた才能と人一倍の努力があることが感じられるからでもあるだろう。

また今後は、岩手を本拠としているサッカーチームのグルージャ、ラグビーのシーウェイブ、そしてバスケットのビッグブルズ等も更に活躍して、県民の心を盛り上げ、県民一体となって応援できるよう頑張ってもらいたいと思う。（M・I）